

試行版 第1版

畜産物の温室効果ガス簡易算定シート 【データ入力シート】 黄色セルに、リストから選択又は数値をご記入ください。

基本情報

生乳出荷量 (kg-生乳/年)	221,811	←⑦
未経産牛 (育成用雌子牛含む) (頭)	4	←⑥
経産牛数 (頭)	25	←⑤
うち初産 (頭)	8	←④
うち二産 (頭)	7	←③
うち三産以上 (頭)	5	←②
搾乳牛数 (頭)	20	←①
乾乳牛数 (頭)	5	←①
乳脂肪率 (%)	3.78	←⑦
所在地 (都道府県)	北海道	

牛群検定成績表から入力

	未経産牛 (育成用雌子牛含む)
初産分娩月齢 (か月)	標準値を使う

飼料

畜種	データ単位	乳用種	
		搾乳牛	乾乳牛・未経産牛 (育成用雌子牛含む)
乾物摂取量	kg/頭/年	推計値を使う	推計値を使う
CP値	kg/頭/日	推計値を使う	推計値を使う
アミノ酸バランス改善飼料	-	使用していない	使用していない

項目			データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力		産地	温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値	温室効果ガス排出量
飼料	粗飼料	生牧草	データを入力する		年	kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		乾牧草	データを入力する		日	kg/日	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-7.14.E+02 kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		サイレージ（稲WCS）	データを入力する		年	kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		サイレージ（その他）	データを入力する		年	kg/年	② ①以外の国内	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-9.64.E+03 kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		稲わら	データを入力する		日	kg/日	② ①以外の国内	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
	濃厚飼料	配合飼料	標準値を使う				—		4.00.E+04 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		トウモロコシ	標準値を使う				③ 北米	産	1.67.E+03 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		飼料用米	標準値を使う				④ 南米	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		エコフィード	標準値を使う				⑥ アジア	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		その他濃厚飼料	標準値を使う				⑤ 豪州	産	1.35.E+04 kg-CO2e/年	1.00.E+00 kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年

排せつ物処理	処理方法 1	処理方法 2	処理方法 3	処理方法 4
排せつ物管理方法	混合	分離	—	—
ふん		堆積発酵		
尿		天日乾燥		
ふん尿	堆積発酵			
処理方法別割合	2	1		

(比率を入力)

経営に係る設備関連のエネルギー等

燃料・電力使用量	データ	標準値 (自動入力)	データ単位	データ入力	温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値	温室効果ガス排出量	チェック
A重油	データを入力する		体積 (L)	L/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
軽油	データを入力する		金額 (円)	円/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-3.10.E+03 kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
灯油	データを入力する		体積 (L)	L/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-4.99.E+03 kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
ガソリン	データを入力する		金額 (円)	円/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-5.29.E+02 kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
系統電力	標準値を使う				1.14.E+04 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	kWh/年	kg-CO2e/年	OK
LPG	標準値を使う				1.38.E+02 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	m3/年	kg-CO2e/年	OK
都市ガス	標準値を使う				0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	m3/年	kg-CO2e/年	OK

乳用牛

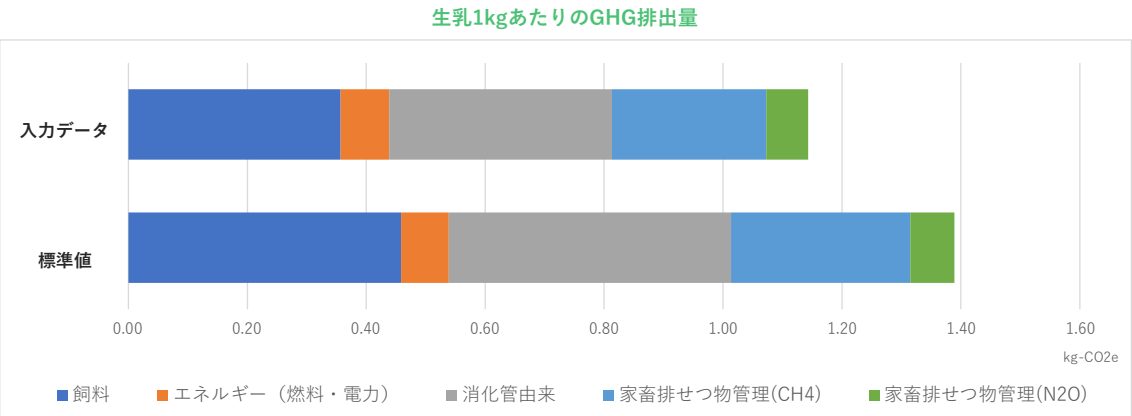
算定結果表示シート

製品名	乳用種
生産地	北海道
算定者	算定 太郎
算定者連絡	03-****-****
算定実施日	2024年2月12日
データ収集期間	2023年1月1日～2023年12月31日
温室効果ガス排出量 削減の取り組み	効率的な飼料の給餌
	国産飼料の活用
	-
	-
	排せつ物処理

本算定について
算定範囲は原材料調達段階および生産段階です。本算定における「標準値」は、同畜種（乳用種）における統計データ等に基づき算定した結果です。本算定では、標準値に比して、生乳 1 kg当たりのGHG排出量が-17.73%となることが見込まれる結果となりました。 本算定シートは、令和 5 年度脱炭素化フードサプライチェーン推進事業における「畜産物の簡易算定シート」により算定した結果です。本算定は2023年1月1日～2023年12月31日のデータに基づき算定した実績値であり、生産年により算定値は変動することが予想されます。 「標準値」および「GHG排出削減率」は、削減努力を示すために参考情報として設定したものです。削減率は目安としてお使いください。また、本算定は気候変動に対する影響の削減を行ったもので、その他の環境側面は評価していません。 算定者により算定方法の異なる場合がありますので、本シートの算定結果間の比較はできません。
自由記述欄

生乳1kgあたりの温室効果ガス排出削減量（CO₂換算値）

GHG削減量（対標準値）※マイナス表記が削減分、プラス表記は増加		割合
合計	-0.25 kg-CO2e/kg	-17.73%
飼料	-0.10 kg-CO2e/kg	-22.11%
エネルギー（燃料・電力）	+0.00 kg-CO2e/kg	2.17%
消化管由来	-0.10 kg-CO2e/kg	-21.25%
家畜排せつ物管理(CH4)	-0.04 kg-CO2e/kg	-13.72%
家畜排せつ物管理(N2O)	-0.00 kg-CO2e/kg	-5.76%



入力したデータに基づくGHG排出量（生乳1kgあたり）※1			標準値（生乳1kgあたり）※1	
生乳1kgあたりのGHG排出量	1.14 kg-CO2e/kg	割合	1.39 kg-CO2e/kg	割合
飼料	0.36 kg-CO2e/kg	31.25%	0.46 kg-CO2e/kg	33.01%
エネルギー（燃料・電力）	0.08 kg-CO2e/kg	7.14%	0.08 kg-CO2e/kg	5.75%
消化管由来	0.37 kg-CO2e/kg	32.74%	0.48 kg-CO2e/kg	34.20%
家畜排せつ物管理(CH4)	0.26 kg-CO2e/kg	22.72%	0.30 kg-CO2e/kg	21.67%
家畜排せつ物管理(N2O)	0.07 kg-CO2e/kg	6.14%	0.07 kg-CO2e/kg	5.36%

※1 4%脂肪補正乳量。（標準値は生乳出荷量：8068kg/頭/年（北海道）、生乳出荷量：8540kg/頭/年（都府県）、乳脂肪率：3.92%として換算）

肉用牛繁殖

試行版 第1版

畜産物の温室効果ガス簡易算定シート 【データ入力シート】 黄色セルに、リストから選択又は数値をご記入ください。

基本情報

畜種	肉用種			乳用種	交雑種		合計
	雄子牛	雌子牛	繁殖雌牛	雄子牛	雄子牛	雌子牛	
年間出荷頭数（頭/年）	2	1	-	1	2	1	7頭
年間飼養頭数（頭/年）	-	-	2	-	-	-	-
出荷時体重（kg/頭）	284	284	-	286	286	286	-
出荷時月齢（か月齢）	8	9	-	6	6	6	-

所在地（都道府県）	鹿児島県
-----------	------

飼料

畜種	データ単位	肉用種			乳用種	交雑種	
		雄子牛	雌子牛	繁殖雌牛	雄子牛	雄子牛	雌子牛
乾物摂取量	kg/頭/年	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う
CP値	kg/頭/日	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う
アミノ酸バランス改善飼料	-	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない

項目		データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力	産地	温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値		温室効果ガス排出量	
飼料	粗飼料	生牧草	データを入力する		年	kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県 産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-1.30.E+02 kg-CO2e/年		kg/年	kg-CO2e/年
		乾牧草	データを入力する		日	kg/日	① 所在地と同一/隣接都道府県 産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-1.68.E+02 kg-CO2e/年		kg/年	kg-CO2e/年
		サイレージ（稲WCS）	データを入力する		年	kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県 産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-1.05.E+03 kg-CO2e/年		kg/年	kg-CO2e/年
		サイレージ（その他）	データを入力する		年	kg/年	② ①以外の国内 産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-4.37.E+01 kg-CO2e/年		kg/年	kg-CO2e/年
		稲わら	データを入力する		日	kg/日	② ①以外の国内 産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年	kg-CO2e/年
	濃厚飼料	配合飼料	標準値を使う				－	3.25.E+03 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年	kg-CO2e/年
		トウモロコシ	標準値を使う				③ 北米 産	3.62.E+01 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年	kg-CO2e/年
		飼料米	標準値を使う				④ 南米 産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年	kg-CO2e/年
		エコフィード	標準値を使う				⑥ アジア 産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年	kg-CO2e/年
		その他濃厚飼料	標準値を使う				⑤ 豪州 産	1.00.E+03 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg/年	kg-CO2e/年

排せつ物処理	処理方法 1	処理方法 2	処理方法 3	処理方法 4
排せつ物管理方法	混合	分離	—	—
ふん		密閉型強制発酵		
尿		天日乾燥		
ふん尿	堆積発酵			
処理方法別割合	1	2		

（比率を入力）

育成に係る燃料・電力使用等

燃料・電力使用量	データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力	温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値		温室効果ガス排出量		チェック
A重油	データを入力する		体積 (L)	L/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-1.14.E+00 kg-CO2e/年		L/年		kg-CO2e/年	OK
軽油	データを入力する		金額 (円)	円/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-1.85.E+02 kg-CO2e/年		L/年		kg-CO2e/年	OK
灯油	データを入力する		体積 (L)	L/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-4.80.E+01 kg-CO2e/年		L/年		kg-CO2e/年	OK
ガソリン	データを入力する		金額 (円)	円/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-1.54.E+02 kg-CO2e/年		L/年		kg-CO2e/年	OK
系統電力	標準値を使う				6.00.E+02 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kWh/年		kg-CO2e/年	OK
LPG	標準値を使う				1.53.E+01 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		m3/年		kg-CO2e/年	OK
都市ガス	標準値を使う				0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		m3/年		kg-CO2e/年	OK

肉用牛繁殖

算定結果表示シート

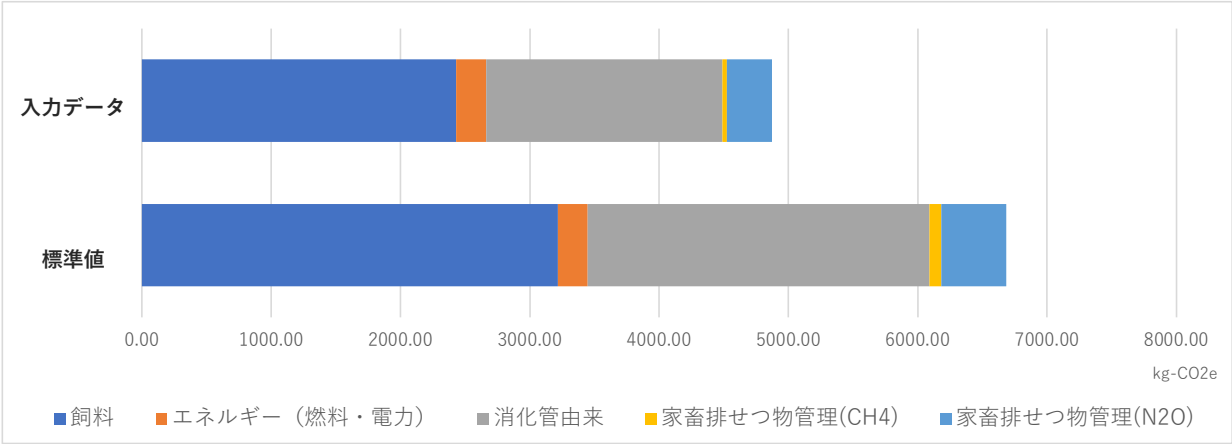
製品名	肉用種
生産地	鹿児島県
算定者	算定 太郎
算定者連絡	03-****-****
算定実施日	2024年2月12日
データ収集期間	2023年1月1日～2023年12月31日
温室効果ガス排出量 削減の取り組み	効率的な飼料の給餌
	国産飼料の活用
	-
	-
	排せつ物処理

本算定について
算定範囲は原材料調達段階および生産段階です。本算定における「標準値」は、同畜種（肉用種）における統計データ等に基づき算定した結果です。本算定では、標準値に比して、1頭当たりのGHG排出量が-27.08%となることが見込まれる結果となりました。 本算定シートは、令和5年度脱炭素化フードサプライチェーン推進事業における「畜産物の簡易算定シート」により算定した結果です。本算定は2023年1月1日～2023年12月31日のデータに基づき算定した実績値であり、生産年により算定値は変動することが予想されます。 「標準値」および「GHG排出削減率」は、削減努力を示すために参考情報として設定したものです。削減率は目安としてお使いください。また、本算定は気候変動に対する影響の削減を行ったもので、その他の環境側面は評価していません。 算定者により算定方法の異なる場合がありますので、本シートの算定結果間の比較はできません。
自由記述欄

1頭あたりの温室効果ガス排出削減量（CO₂換算値）

GHG削減量（対標準値）※マイナス表記が削減分、プラス表記は増加		割合
合計	-1809.77 kg-CO2e/頭	-27.08%
飼料	-783.84 kg-CO2e/頭	-24.38%
エネルギー（燃料・電力）	0.00 kg-CO2e/頭	0.00%
消化管由来	-819.00 kg-CO2e/頭	-30.96%
家畜排せつ物管理(CH4)	-54.27 kg-CO2e/頭	-59.95%
家畜排せつ物管理(N2O)	-152.66 kg-CO2e/頭	-30.43%

1頭あたりのGHG排出量



入力したデータに基づくGHG排出量（肉用種雄子牛 1頭あたり）			標準値（肉用種雄子牛 1頭あたり）	
1頭あたりのGHG排出量	4873.88 kg-CO2e/頭	割合	6683.65 kg-CO2e/頭	割合
飼料	2431.28 kg-CO2e/頭	49.88%	3215.12 kg-CO2e/頭	48.10%
エネルギー（燃料・電力）	231.25 kg-CO2e/頭	4.74%	231.25 kg-CO2e/頭	3.46%
消化管由来	1826.07 kg-CO2e/頭	37.47%	2645.07 kg-CO2e/頭	39.58%
家畜排せつ物管理(CH4)	36.25 kg-CO2e/頭	0.74%	90.52 kg-CO2e/頭	1.35%
家畜排せつ物管理(N2O)	349.04 kg-CO2e/頭	7.16%	501.70 kg-CO2e/頭	7.51%

肉用牛肥育

試行版 第1版

畜産物の温室効果ガス簡易算定シート 【データ入力シート】 黄色セルに、リストから選択又は数値をご記入ください。

子牛生産に係るGHG排出量

畜種	肉用種		乳用種	交雑種	
	雄子牛	雌子牛	雄子牛	雄子牛	雌子牛
1頭あたりのGHG排出量(kg-CO2e/頭)	データを入力する	標準値を使う	標準値を使う	標準値を使う	標準値を使う
	5,000.00				

基本情報

畜種	肉用種			乳用種	交雑種		合計
	去勢牛	雌牛(未経産)	雌牛(経産)	去勢牛	去勢牛	雌牛(未経産)	
年間出荷頭数（頭/年）	200	100	10	10	10	10	340頭
肥育開始時月齢（か月齢）	標準値を使う		データを入力する				-
			12				-
肥育開始時体重（kg/頭）			標準値を使う				-
							-
出荷時月齢（か月齢）	25	25	120	26	26	26	-
出荷時枝肉重量（kg/頭）	480.0	417.0	355.0	487.0	476.1	476.1	-
所在地（都道府県）	鹿児島県						

飼料

畜種	データ単位	肉用種			乳用種	交雑種	
		去勢牛	雌牛(未経産)	雌牛(経産)	去勢牛	去勢牛	雌牛(未経産)
乾物摂取量	kg/頭/年	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う
CP値	kg/頭/日	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う
アミノ酸バランス改善飼料	-	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない
バイパスアミノ酸添加飼料	-	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない

項目		データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力	産地		温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値		温室効果ガス排出量	
飼料	粗飼料	生牧草	データを入力する		日		kg/日	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-2.64.E+02 kg-CO2e/年		kg-CO2e/年
		乾牧草	データを入力する		年		kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-3.30.E+03 kg-CO2e/年		kg-CO2e/年
		サイレージ（稲WCS）	データを入力する		日		kg/日	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-2.17.E+03 kg-CO2e/年		kg-CO2e/年
		サイレージ（その他）	データを入力する		年		kg/年	② ①以外の国内	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-8.50.E+02 kg-CO2e/年		kg-CO2e/年
		稲わら	データを入力する		日		kg/日	② ①以外の国内	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg-CO2e/年
	濃厚飼料	配合飼料	標準値を使う					—		5.86.E+05 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg-CO2e/年
		トウモロコシ	標準値を使う					③ 北米	産	2.26.E+04 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg-CO2e/年
		飼料米	標準値を使う					④ 南米	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg-CO2e/年
		エコフィード	標準値を使う					⑥ アジア	産	0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg-CO2e/年
		その他濃厚飼料	標準値を使う					⑤ 豪州	産	6.93.E+04 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年		kg-CO2e/年

排せつ物処理	処理方法 1	処理方法 2	処理方法 3	処理方法 4
排せつ物管理方法	混合	分離	—	—
ふん		堆積発酵		
尿		天日乾燥		
ふん尿	堆積発酵			
処理方法別割合	1	2		

(比率を入力)

経営に係る設備関連のエネルギー等

燃料・電力使用量	データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力	温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値	温室効果ガス排出量	チェック
A重油	データを入力する		体積 (L)	L/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-3.05.E+01 kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
軽油	データを入力する		金額 (円)	円/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-1.88.E+04 kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
灯油	データを入力する		体積 (L)	L/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-1.38.E+03 kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
ガソリン	データを入力する		金額 (円)	円/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	-1.11.E+04 kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
系統電力	標準値を使う				5.26.E+04 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	kWh/年	kg-CO2e/年	OK
LPG	標準値を使う				5.27.E+02 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	m3/年	kg-CO2e/年	OK
都市ガス	標準値を使う				0.00.E+00 kg-CO2e/年	0.00.E+00 kg-CO2e/年	m3/年	kg-CO2e/年	OK

肉用牛肥育

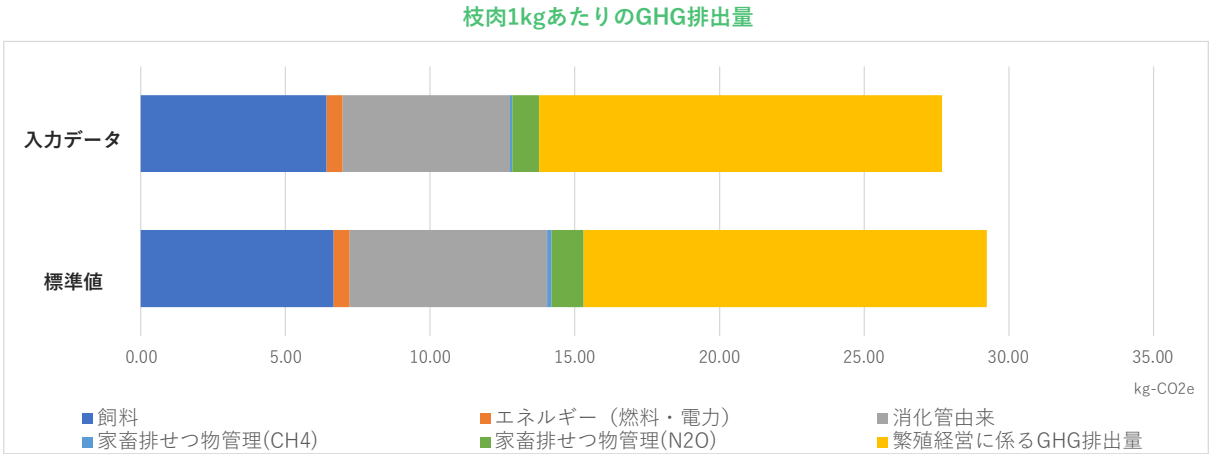
算定結果表示シート

製品名	肉用種
生産地	鹿児島県
算定者	算定 太郎
算定者連絡	03-****-****
算定実施日	2024年2月12日
データ収集期間	2023年1月1日～2023年12月31日
温室効果ガス排出量 削減の取り組み	効率的な飼料の給餌
	国産飼料の活用
	-
	-
	-
	排せつ物処理

本算定について
算定範囲は原材料調達段階および生産段階です。本算定における「標準値」は、同畜種（肉用種）における統計データ等に基づき算定した結果です。本算定では、標準値に比して、1頭当たりのGHG排出量が-5.26%となることが見込まれる結果となりました。 本算定シートは、令和5年度脱炭素化フードサプライチェーン推進事業における「畜産物の簡易算定シート」により算定した結果です。本算定は2023年1月1日～2023年12月31日のデータに基づき算定した実績値であり、生産年により算定値は変動することが予想されます。 「標準値」および「GHG排出削減率」は、削減努力を示すために参考情報として設定したものです。削減率は目安としてお使いください。また、本算定は気候変動に対する影響の削減を行ったもので、その他の環境側面は評価していません。 算定者により算定方法の異なる場合がありますので、本シートの算定結果間の比較はできません。
自由記述欄

枝肉1kgあたりの温室効果ガス排出削減量（CO₂換算値）

GHG削減量（対標準値）※マイナス表記が削減分、プラス表記は増加	割合	
合計	-1.54 kg-CO2e/kg	-5.26%
飼料	-0.24 kg-CO2e/kg	-3.60%
エネルギー（燃料・電力）	0.00 kg-CO2e/kg	0.00%
消化管由来	-1.04 kg-CO2e/kg	-15.24%
家畜排せつ物管理(CH4)	-0.07 kg-CO2e/kg	-49.35%
家畜排せつ物管理(N2O)	-0.18 kg-CO2e/kg	-16.33%
繁殖経営に係るGHG排出量	0.00 kg-CO2e/kg	0.00%



入力したデータに基づくGHG排出量（枝肉1kgあたり）			標準値（枝肉1kgあたり）	
枝肉1kgあたりのGHG排出量	27.70 kg-CO2e/kg	割合	29.24 kg-CO2e/kg	割合
飼料	6.43 kg-CO2e/kg	23.21%	6.67 kg-CO2e/kg	22.81%
エネルギー（燃料・電力）	0.55 kg-CO2e/kg	2.00%	0.55 kg-CO2e/kg	1.89%
消化管由来	5.78 kg-CO2e/kg	20.87%	6.82 kg-CO2e/kg	23.33%
家畜排せつ物管理(CH4)	0.08 kg-CO2e/kg	0.28%	0.15 kg-CO2e/kg	0.52%
家畜排せつ物管理(N2O)	0.93 kg-CO2e/kg	3.37%	1.12 kg-CO2e/kg	3.82%
繁殖経営に係るGHG排出量	13.92 kg-CO2e/kg	50.27%	13.92 kg-CO2e/kg	47.63%